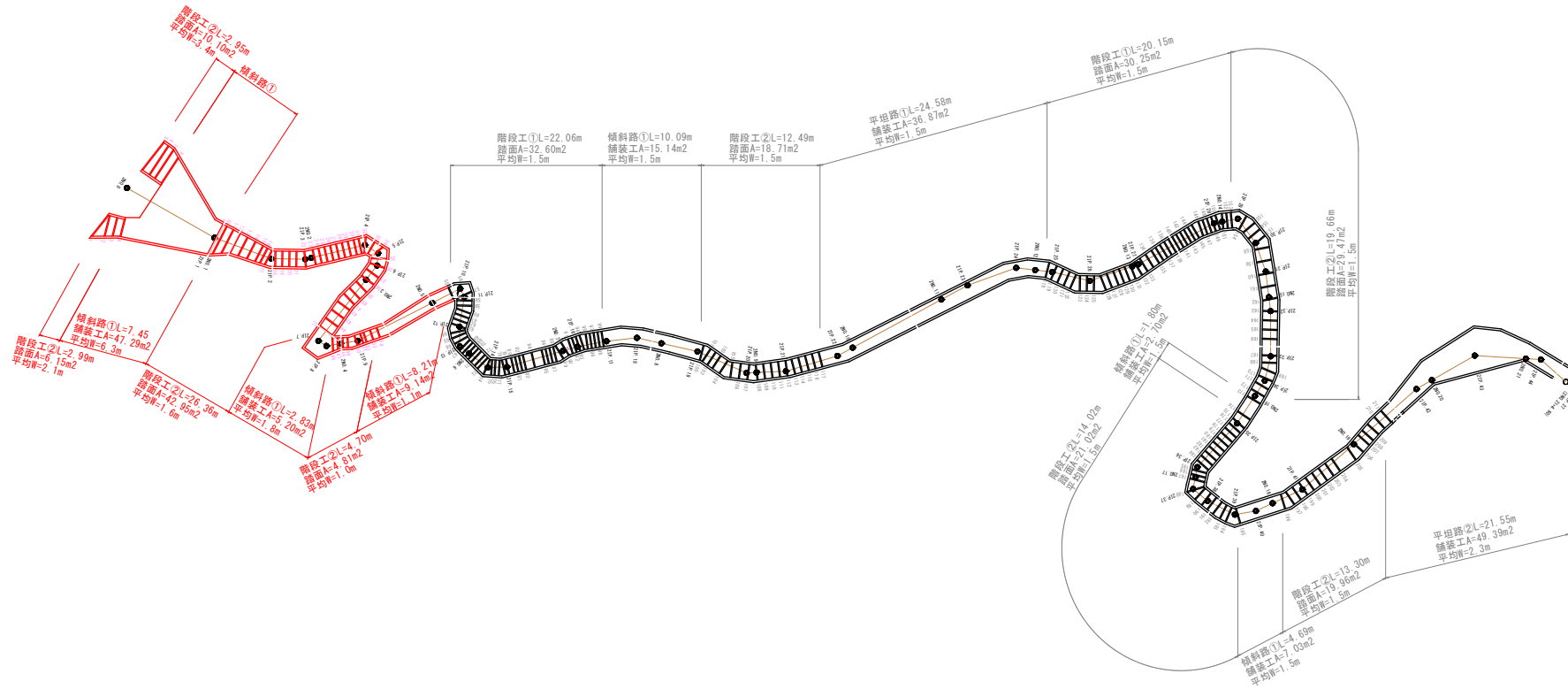


3工区

施設仕上げ工 数量計算書

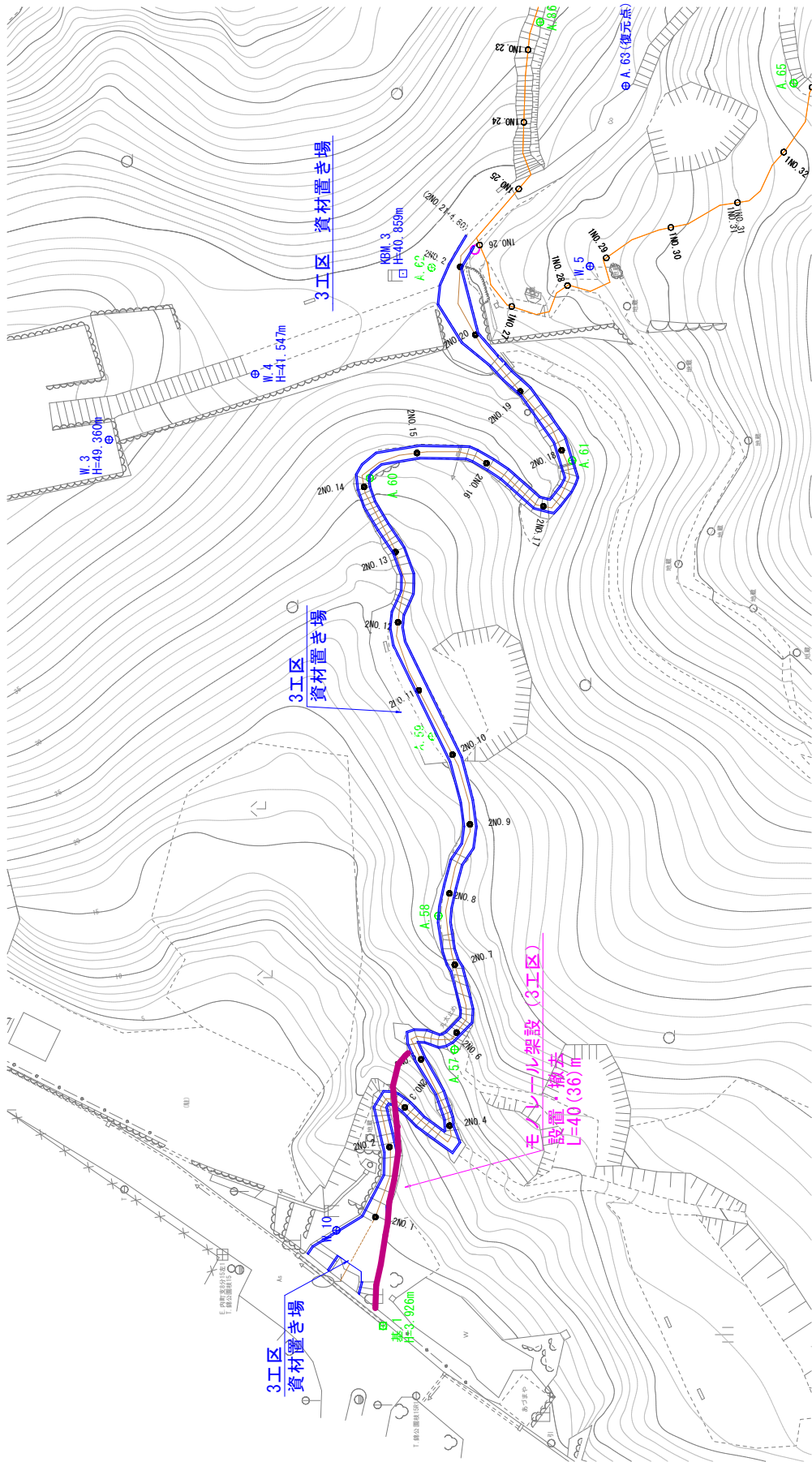
カラ-Co部面積A=

6.15	+	10.10	+	47.29	+	42.95	
5.20	+	4.81	+	9.14			= 125.64m <sup>2</sup>









## 3 工区

## モノレール運搬数量計算書

※ 数量は園路数量計算書参照

## コンクリート

階段工② (地覆+踏面)	$(1.63+1.00) / 10.0 \times 4.70 + (1.63+1.60) / 10.0 \times 26.36$	
	$+ (1.63+2.10) / 10.0 \times 2.99 + (1.63+3.40) / 10.0 \times 2.95$	12.3
傾斜路①(表層工+地覆)	$61.63 \times 0.10 + 1.10 \times 8.21 + 1.30 \times 2.83 + 1.10 \times 7.45$	27.1
侵食防止工 (張Co)	$4.2 \times 0.07$	0.3
		<u>39.7</u> m <sup>3</sup>

## 碎石

階段工② (碎石充填)	$2.16/10.0 \times 4.70 + 3.46/10.0 \times 26.36 + 4.54/10.0 \times 2.99$	
	$+ 7.34/10.0 \times 2.95$	13.7
傾斜路① (碎石充填)	$0.90/10.0 \times 8.21 + 2.70/10.0 \times 2.83 + 3.60/10.0 \times 7.45$	4.2
侵食防止工		0.6
		<u>18.5</u> m <sup>3</sup>

## 土砂

植生土のう (中詰土)	$0.4/10.0 \times 73.9$	3.0
		<u>3.0</u> m <sup>3</sup>

## 手すり工

手すり	$(107.69 + 0.67 \times 10) / 1000$	0.1 t
-----	------------------------------------	-------

## 電気設備工

	$0.03 + 0.43$	0.5 t
--	---------------	-------

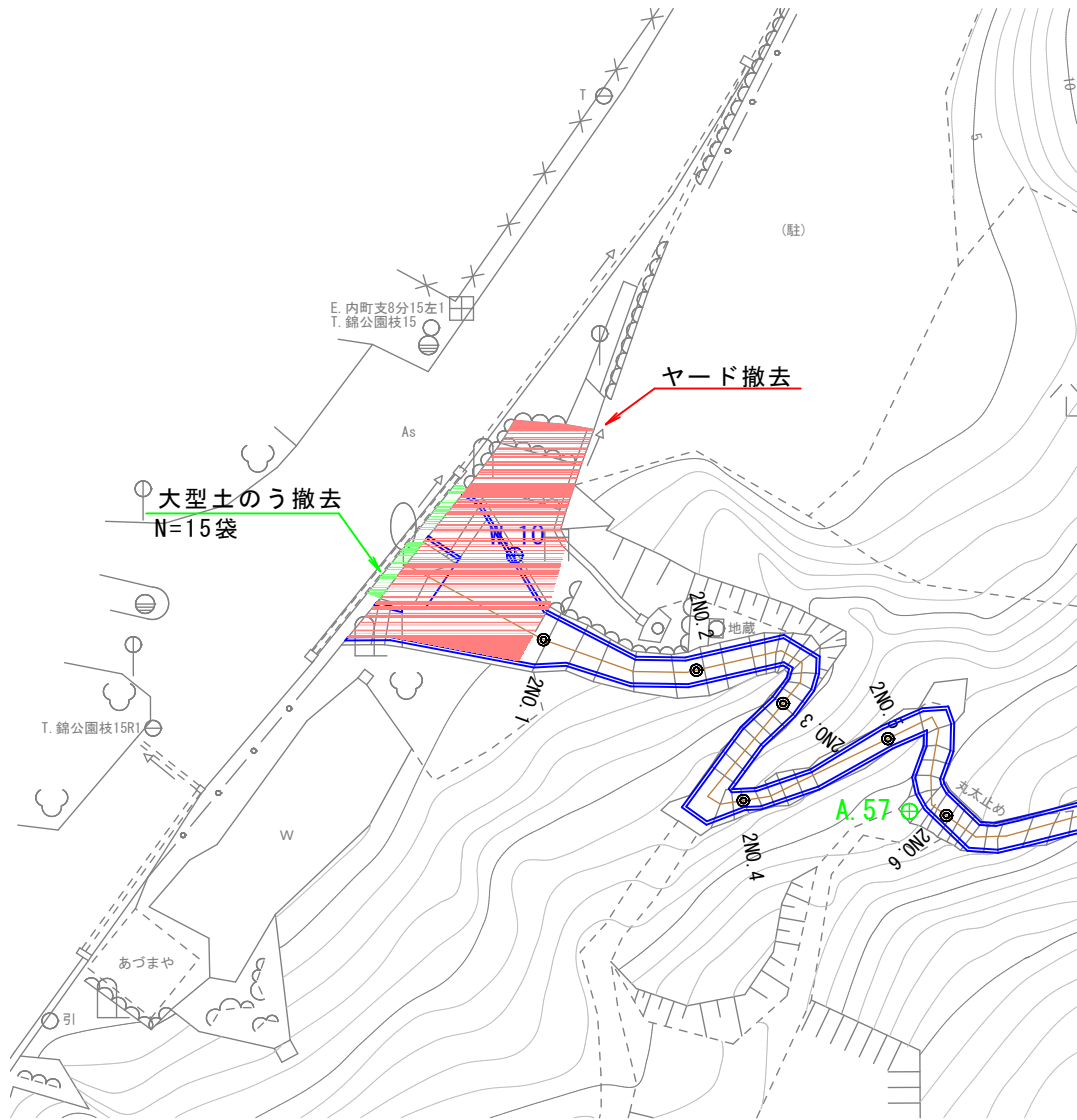
## 型枠材

階段工②	$16.32/10.0 \times 4.70 + 16.32/10.0 \times 26.36 + 16.32/10.0 \times 2.99$	
	$+ 16.32/10.0 \times 2.95$	60.4 m <sup>2</sup>
傾斜路①	$11.60/10.0 \times 8.21 + 13.30/10.0 \times 2.83 + 10.60/10.0 \times 7.45$	21.2 m <sup>2</sup>
		<u>81.6</u> m <sup>2</sup>

	厚	換算係数	
81.6 m <sup>2</sup>	$\times 0.012\text{m}$	$\times 0.55$	$= 0.5 t$



# ヤード撤去工図

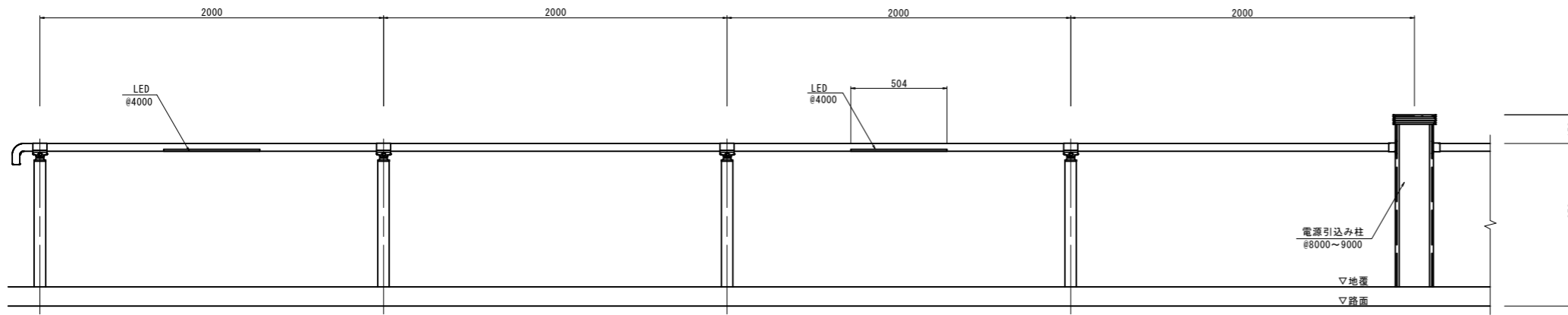


# アルミLED装着手すり 標準図

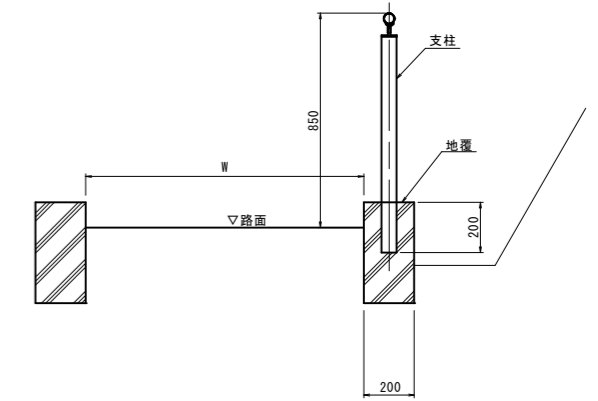
NO SCALE

JIS H 8602 陽極酸化塗装複合皮膜(マットブラウン色系)

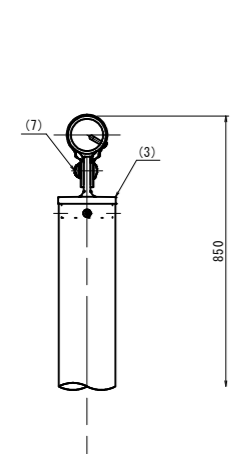
立面図



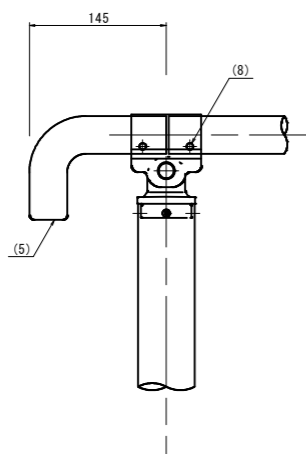
側面図



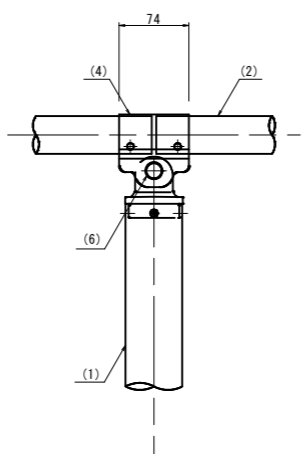
側面図



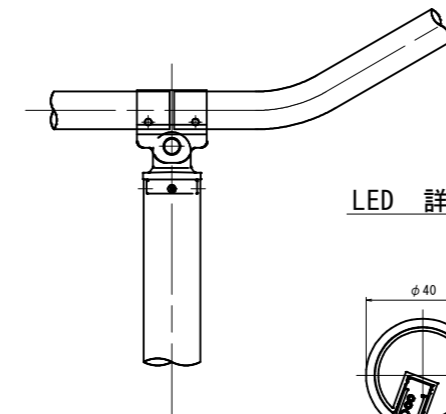
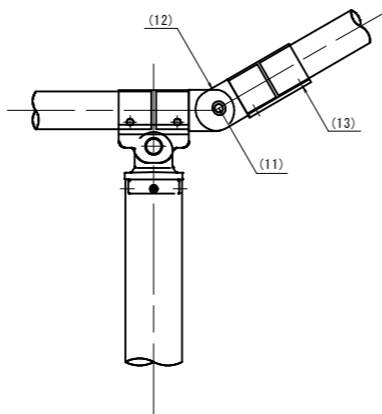
端末部



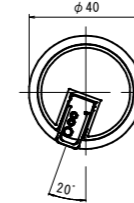
中間部



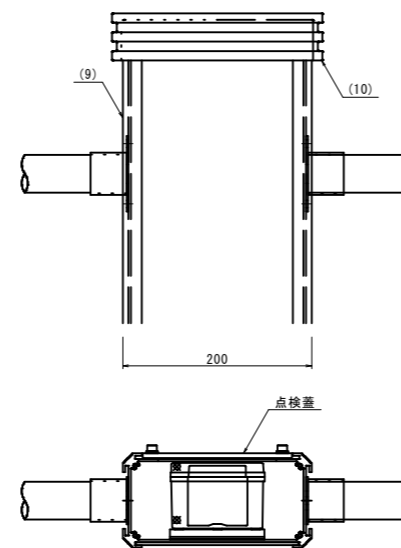
傾斜変化部



LED 詳細図

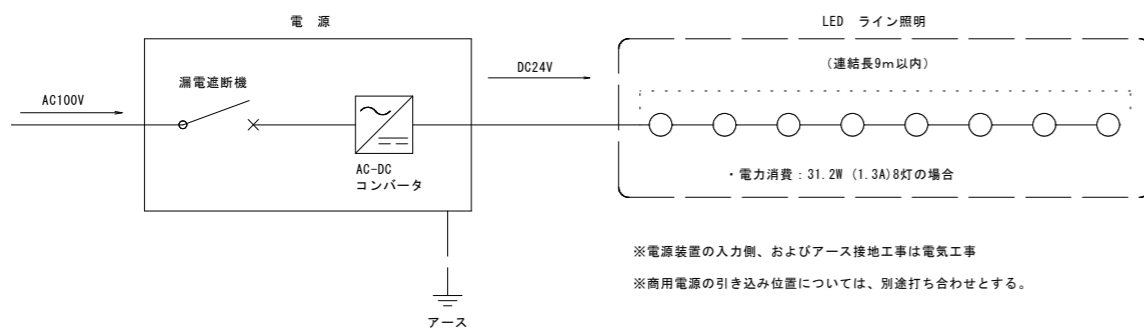


電源引込み部



LED ライン照明仕様						
全長 (mm)	色温度 (電球色: K)	平均演色評価数	保護等級	全光束 (lm)	定格	定格電流 (A)
504	2700	Ra82	IP65	200	DC24V 3.9W	0.16

系統図(調光無し)



※電源装置の入力側、およびアース接地工事は電気工事  
 ※商用電源の引き込み位置については、別途打ち合わせとする。

部番	名称	形状	材質	表面処理
(1)	支柱	φ60×3.0t	A6005CS-T5	JIS H 8602 陽極酸化塗装複合皮膜 (MB色系)
(2)	手摺	φ40×3.0t	A6063TE-T5	
(3)	キャップ金具 A	φ60用	ADC	ポリエステル系粉体塗装 (マットブラウン色系)
(4)	キャップ金具 B	φ40用 (巾=74)	A6063S-T5	
(5)	端末手摺	φ40	ADC	GB
(6)	化粧ナット	M8用	アルミ材	
(7)	六角穴付ボタンボルト	M8×15 B, W	SUS	GB
(8)	ピアスビス	φ4×19 B		
(9)	電源引込み支柱	200×100	A6063S-T5	JIS H 8602 陽極酸化塗装複合皮膜 (MB色系)
(10)	キャップ	200×100用	AC40-F	ポリエステル系粉体塗装 (MB色系)
(11)	六角穴付ボタンボルト	M8×20 B, SW	SUS	GB
(12)	フレキシブル金具 A	φ40用 (2ヶ/セット)	ADC	ポリエステル系粉体塗装 (MB色系)
(13)	フレキシブル金具 B	φ40用 (巾=75)	A6063S-T5	

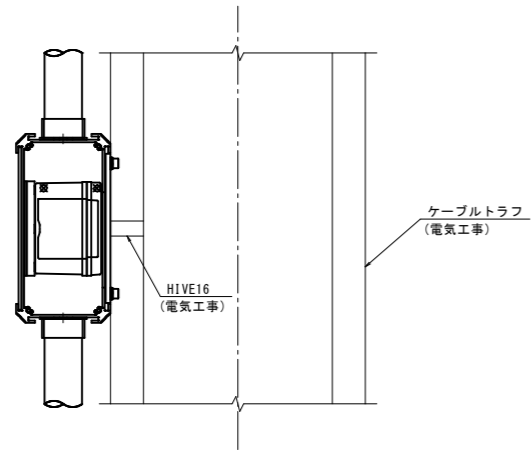
(参考図)

図面番号	第 6 枚内 1 号
図面名称	史跡米子城跡園路整備工事 アルミLED装着手すり 標準図
縮尺	NO SCALE
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部文化振興課	

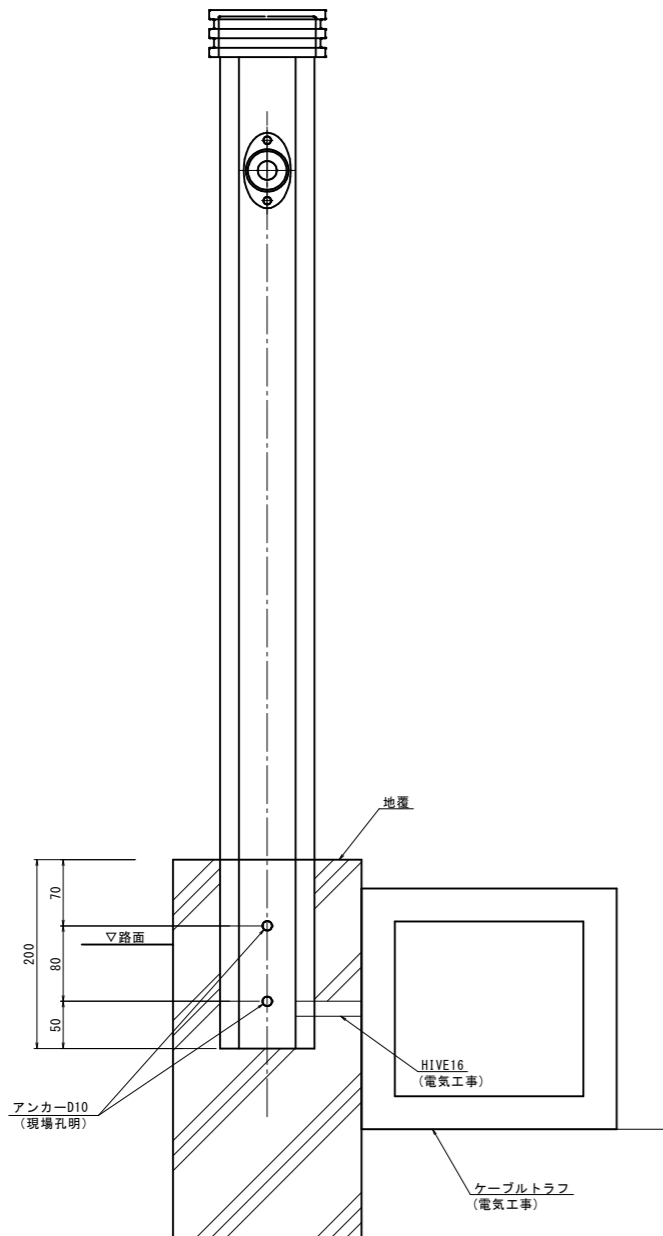


# 手すり電源引込み柱 標準図

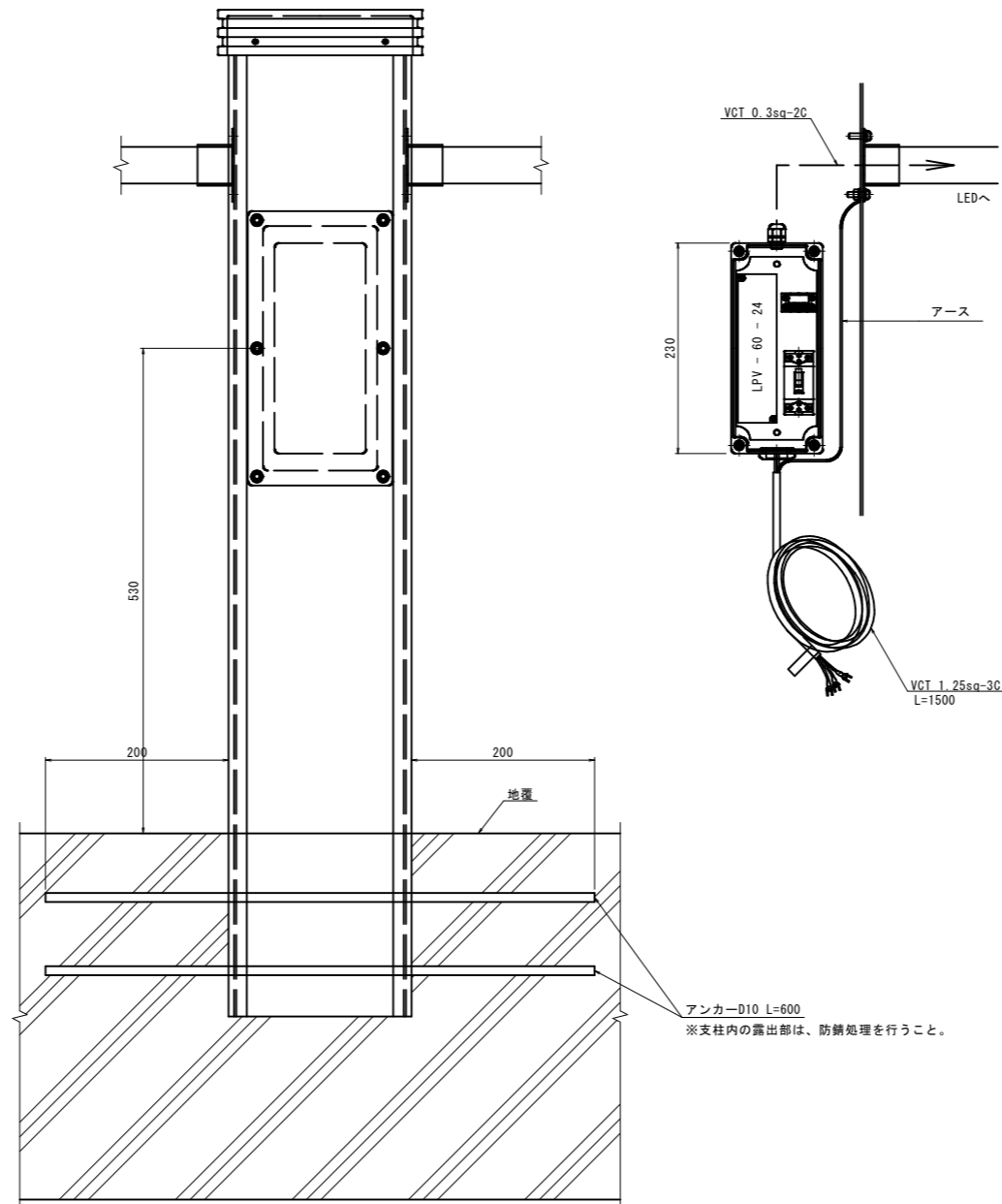
平面図 S=1:4



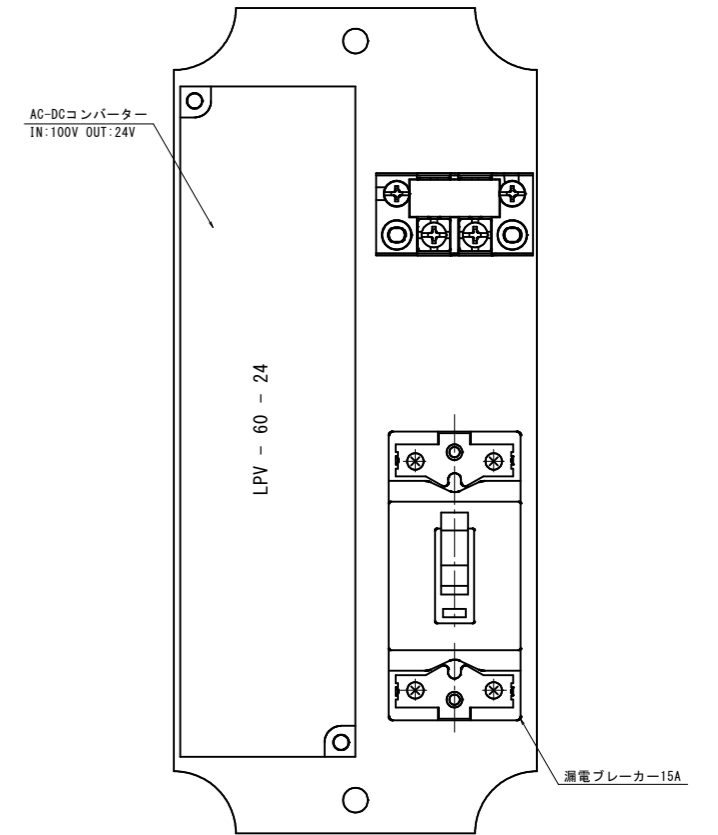
立面図 S=1:4



正面図 S=1:4



AC-DCコンバーター・漏電ブレーカー NO SCALE



(参考図) ※A3出力時は表示縮尺の50%である。

図面番号	第 6 枚内 2 号
図面名称	史跡米子城跡園路整備工事 手すり電源引込み柱 標準図
縮 尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部文化振興課	

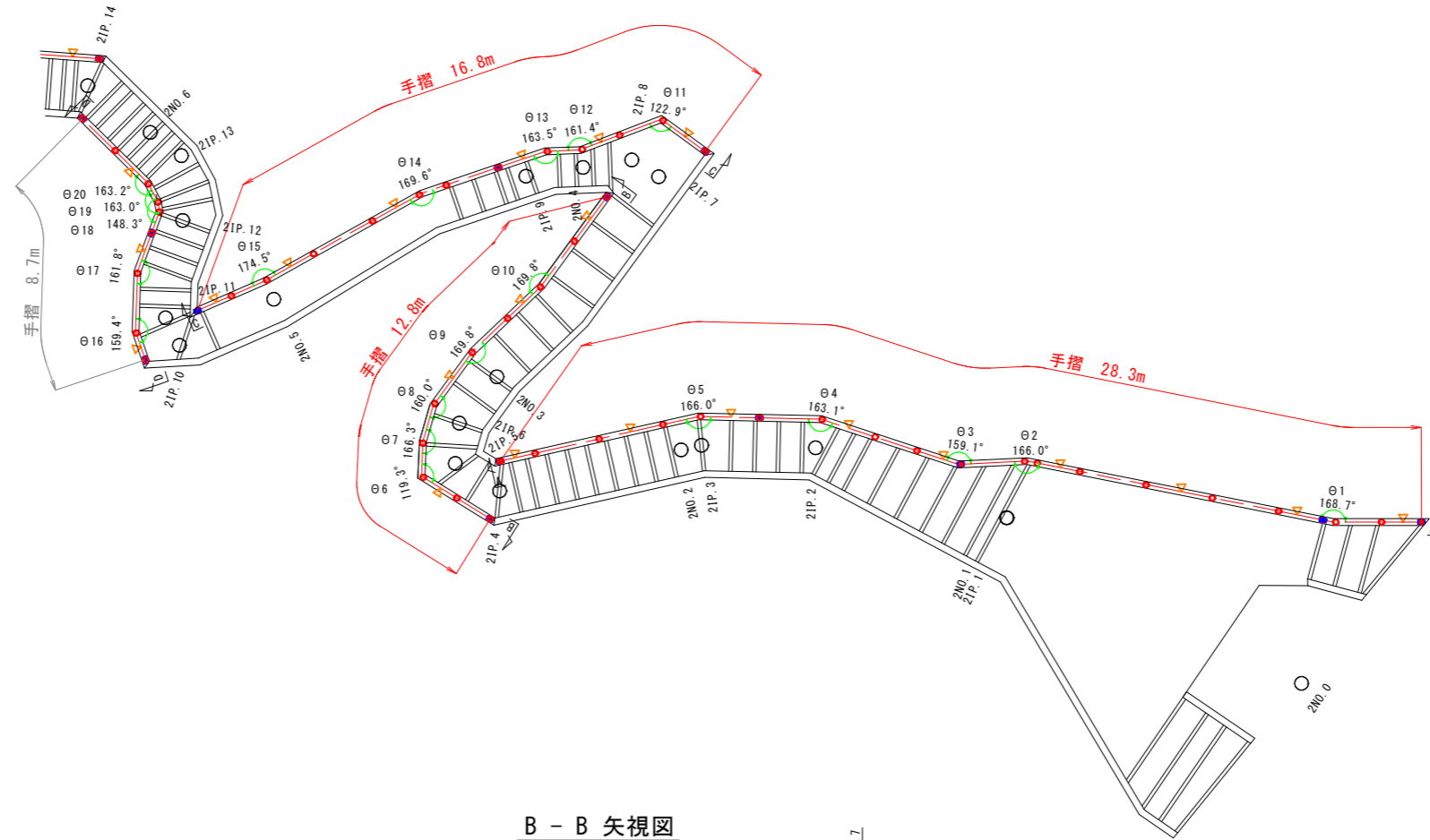
# アルミLED装着手すり割付図（3工区）その1

S=1:100

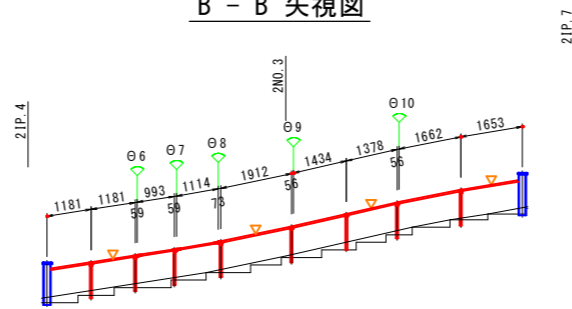
## 凡例

- ▽ 照明位置
- 電源引込み柱位置

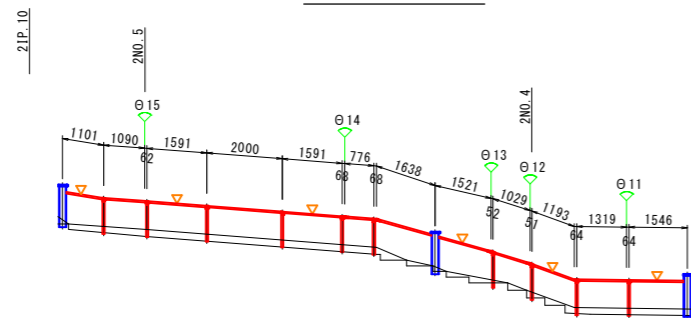
## 平面図



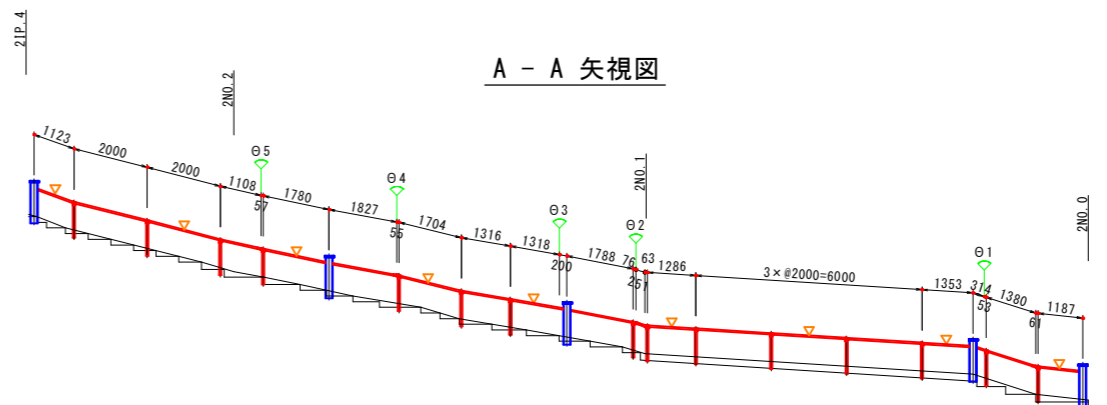
## B - B 矢視図



## C - C 矢視図



## A - A 矢視図

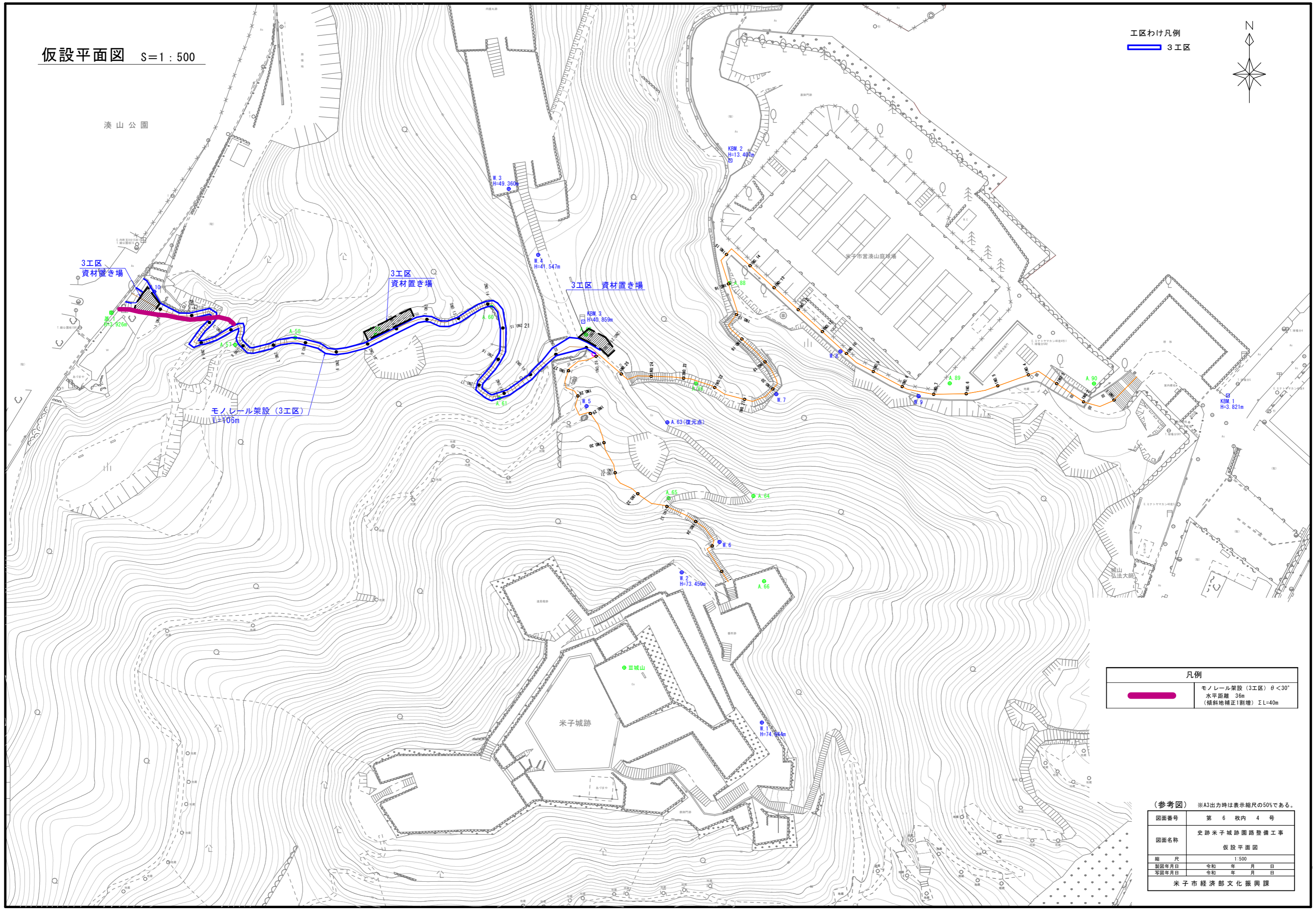
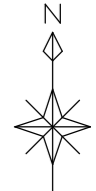


(参考図) ※A3出力時は表示縮尺の50%である。

図面番号	第 6 枚内 3 号
図面名称	史跡米子城跡園路整備工事 アルミLED装着手すり 割付図 (3工区) その1
縮尺	1:100
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部文化振興課	

仮設平面図 S=1:500

工区わけ凡例  
 3工区



凡例	
<span style="background-color: pink; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></span>	モノレール架設 (3工区) $\theta < 30^\circ$ 水平距離 36m (傾斜地補正1割増) $\Sigma L=40m$

(参考図) ※A3出力時は表示縮尺の50%である。

図面番号	第 6 枚内 4 号
図面名称	史跡米子城跡園路整備工事 仮設平面図
縮尺	1:500
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部文化振興課	

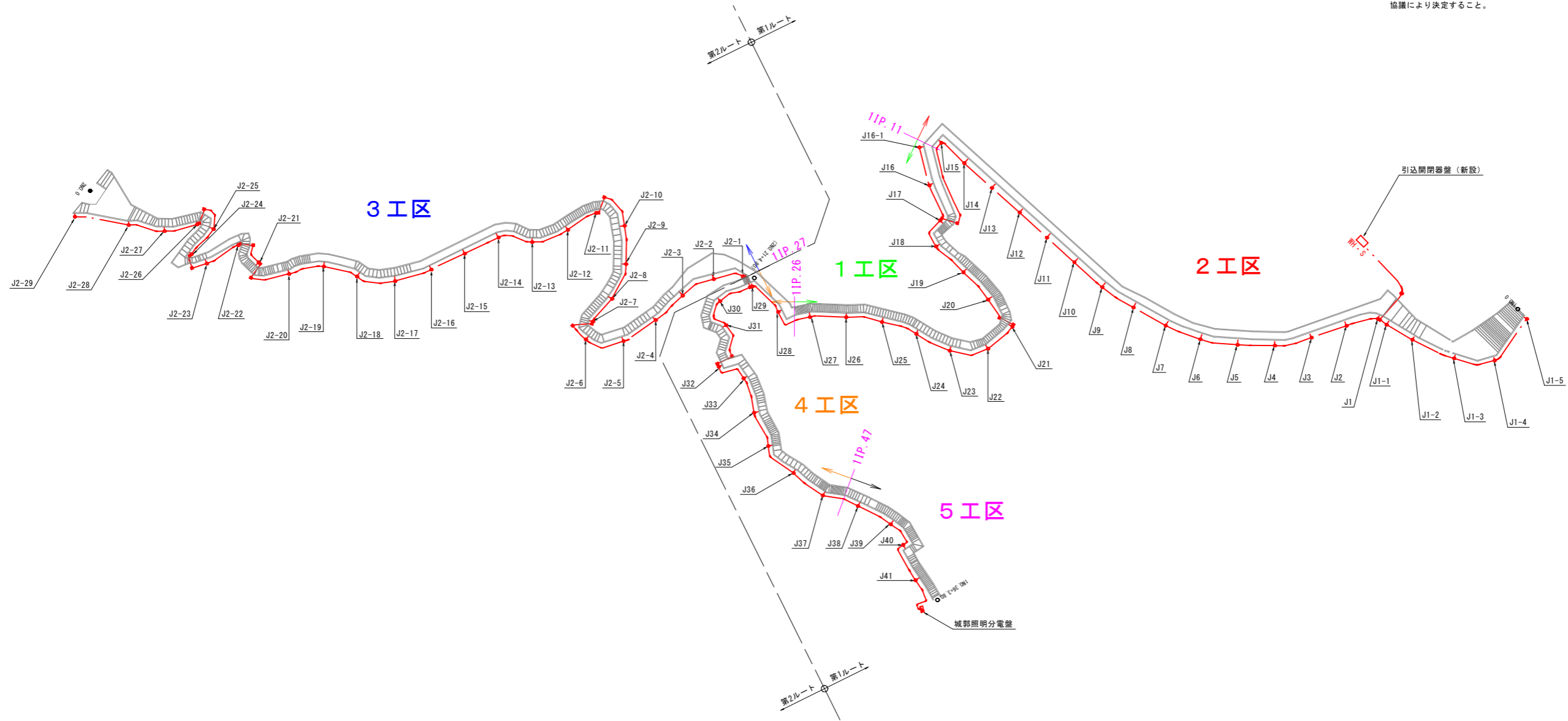


# 電気配線平面図

S=1:500

＝特 記＝

- ・J1部分から城郭照明分電盤まで、J1-1～J1-5及びJ2-1～J2-29まではケーブルトラフを設置してケーブルを収納する。
- ・階段横断部分は電線管で埋設施工すること。
- ・記号J1及びJ2は手摺照明用電源の分岐箇所を示す。  
なお、当該位置は照明間隔4mを考慮し概ね8m毎に設定した位置であり、施工時には建柱する電源引込み柱の位置に合わせる。
- ・部材の指定色塗装（茶色系）は、園路及び周辺景観との調和を考慮し、協議により決定すること。

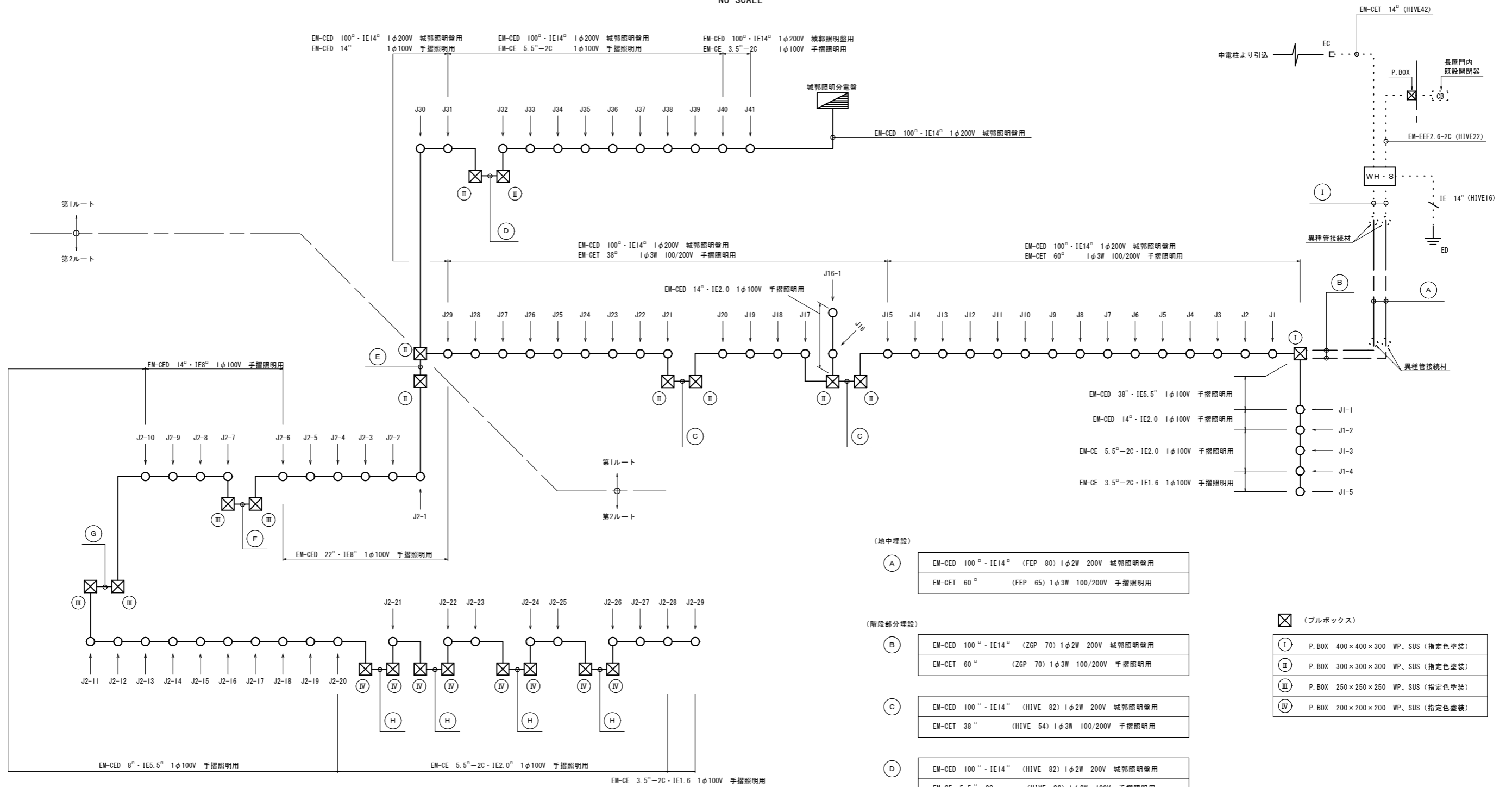


(参考図) ※A3出力時は表示縮尺の50%である。

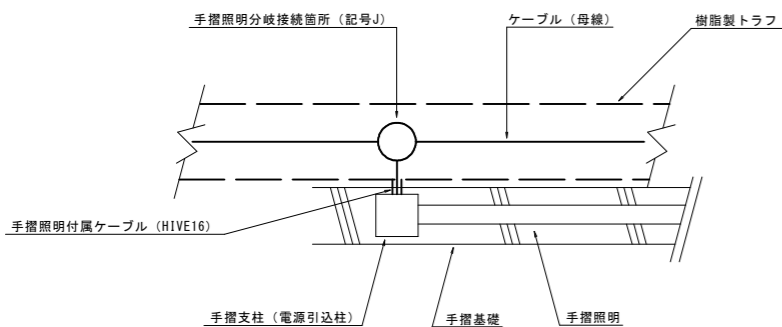
図面番号	第 6 枚内 5 号
図面名称	史跡米子城跡園路整備工事 電気配線平面図
縮 尺	1:500
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部文化振興課	

# 電気配線系統図


NO SCALE



## 手摺照明分岐箇所詳細図



＝特 記＝

- ・記号 J は手摺照明への分岐接続箇所を示す。
  - ・ は階段部分横断箇所のブルボックスを示す。
  - ・手摺照明への分岐接続は下記による。
- |                |  |
|----------------|--|
| EM-CETケーブル 赤相側 | J1 ~ J29間の奇数箇所、J1-1 ~ J1-5及びJ30 ~ J41の箇所 |
| EM-CETケーブル 黒相側 | J1 ~ J29間の偶数箇所、J16-1及びJ2-1 ~ J2-29の箇所    |
- 母線ケーブル接続は手摺支柱内開閉器からの距離を3m以内で施工すること。

(地中埋設)

(A)	EM-CED 100°・IE14° (FEP 80) 1φ2W 200V 城郭照明盤用
	EM-CET 60° (FEP 65) 1φ3W 100/200V 手摺照明用

(階段部分埋設)

(B)	EM-CED 100°・IE14° (ZGP 70) 1φ2W 200V 城郭照明盤用
	EM-CET 60° (ZGP 70) 1φ3W 100/200V 手摺照明用

(C)	EM-CED 100°・IE14° (HIVE 82) 1φ2W 200V 城郭照明盤用
	EM-CET 38° (HIVE 54) 1φ3W 100/200V 手摺照明用

(D)	EM-CED 100°・IE14° (HIVE 82) 1φ2W 200V 城郭照明盤用
	EM-CE 5.5°-2C (HIVE 28) 1φ2W 100V 手摺照明用

(E)	EM-CED 22°・IE8° (HIVE 54) 1φ2W 100V 手摺照明用
-----	---


(F)	EM-CED 14°・IE8° (HIVE 36) 1φ2W 100V 手摺照明用
-----	---

(G)	EM-CE 8°-2C・IE5.5° (HIVE 28) 1φ2W 100V 手摺照明用
-----	--

(H)	EM-CE 5.5°-2C・IE2.0° (HIVE 28) 1φ2W 100V 手摺照明用
-----	--

(外壁露出)

(I)	EM-CED 100°・IE14° (HIVE 82) 1φ2W 200V 城郭照明盤用
	EM-CET 60° (HIVE 70) 1φ3W 100/200V 手摺照明用

 (ブルボックス)

(I)	P. BOX 400×400×300 WP、SUS (指定色塗装)
(II)	P. BOX 300×300×300 WP、SUS (指定色塗装)
(III)	P. BOX 250×250×250 WP、SUS (指定色塗装)
(IV)	P. BOX 200×200×200 WP、SUS (指定色塗装)

(参考図)

図面番号	第 6 枚内 6 号
図面名称	史跡米子城跡園路整備工事 電気配線系統図
縮 尺	NO SCALE
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部文化振興課	